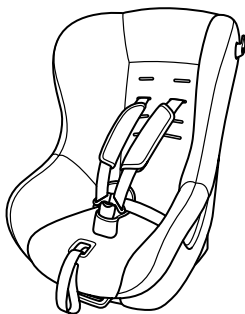
チャイルド シート

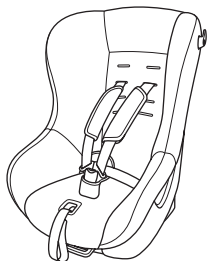
取扱説明書

このたびは、Honda純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に保管してください。

●当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合の責任は一切負えませんのでご承知おきください。また、取り付けできる座席につきましては、お車の取扱説明書、または販売店にご確認ください。

●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

Honda Access

ご使用の前に必ずお読みいただき、
取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、
大切に保管してください。

このチャイルドシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた
年少者用補助乗用装置です。
チャイルドシートの確実な取り付けとともに
安全運転をお願い申し上げます。

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしていただきたいと存じます。
つきましては、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願い致します。

取扱説明書は、ベース背面に入れて保管してください。

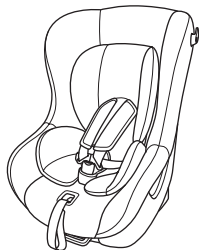
目　次

確認しておきましょう

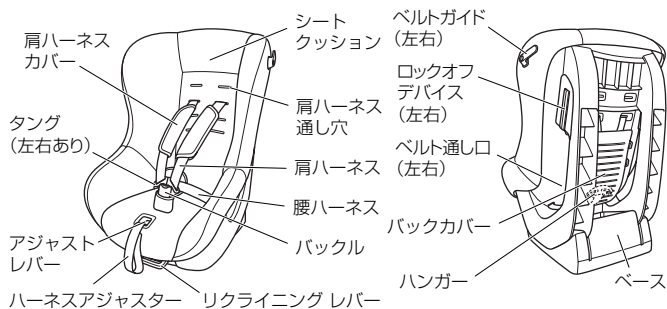
次のものがそろっていますか

ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください

> 欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（0120-663521）までご連絡ください。
> お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載されている品番を必ずお伝えください。（41ページ）

■チャイルドシート本体

■取扱説明書

各部のなまえ

チャイルドシートと合わせてご確認ください。

マーク表示について

必ずお使いになる前にお読みください。

当商品は、お子さまの命を守る重要な役目を果たす商品ですが、取扱説明書の指示に従わないと本来の機能を果たさず、事故に遭われたときにお子さまが死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。取扱説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険

●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

●指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

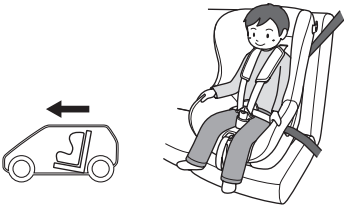
- 当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
- 異常事態の処置方法を記載しています。
- 当商品を確実にお取り付けしていただくためのアドバイスを記載しています。

知っておいていただきたいこと、
知っておくと便利なこと
を記載しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

①バックルボタンを押してバックルからタングを外す。

②お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。

- バックルボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

お子さまの条件

チャイルドシートはお子さまの条件により、取り付けかたが異なります。
ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

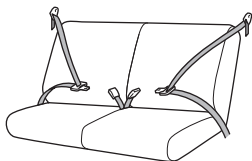
体 重	参考年齢	取り付けかた
13kg未満	新生児 ～1歳半ごろ	お車の進行方向に対し、後ろ向きで使用します
9～18kg	9ヶ月 ～4歳ころ	お車の進行方向に対し、前向きで使用します

⚠ 警告

●体重が9kgを超えるまでは後ろ向きで使用してください。

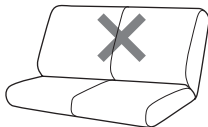
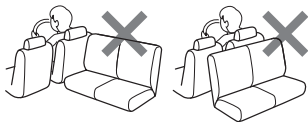
年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるシート

■進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いているシート

アドバイス

・お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書も併せてご確認ください。

取り付けできないシート

■シートベルトが付いていないシート

■横向き・後ろ向きになっているシート

■チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

■前方にエアバッグが装備されたシート

⚠警告

●やむを得ずチャイルドシートを取り付ける場合は必ず前向き取り付けとし、助手席のシートを一番後ろに下げ、エアバッグからできるだけ遠ざけてください。

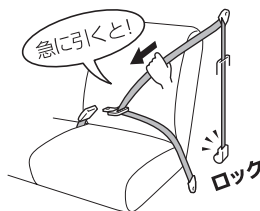
⚠警告

●お車のシートが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定規則第16号（ECE R16）または同等の基準で許可された3点式巻取り装置付シートベルトを装備したお車にて、ご使用することができます。

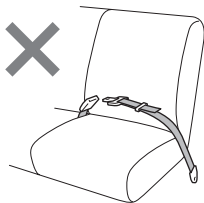
■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。

■チャイルドシート固定機構付ELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。
シートベルトとして通常使用するときはELR機能が働く。

- お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト
肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。

■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト
シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。

■ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト
シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引く出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

■マニュアル式シートベルト
シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■パッシブシートベルト
シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。
ベルトを外すときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト
シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

■その他のシートベルト
「取り付けできるシートベルト」（10ページ）に記載されていないシートベルト。

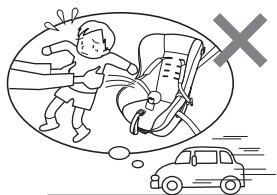
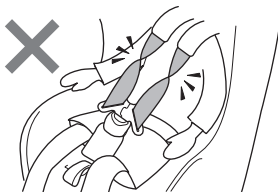
⚠ 警告

●お車のシートベルトが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。
取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは

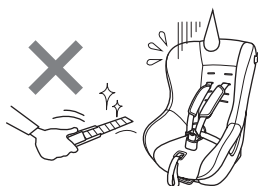
●お子さまだけお車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故など）につながるおそれがあります。

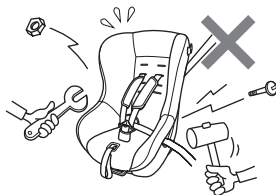
●走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗せ降ろしさせないでください。

●ハーネスは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体に合わせて調整してください。ねじれていると事故のときに重大な傷害を負う可能性があります。

●腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故などのときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 警告

取り付けるときは

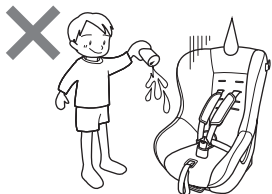
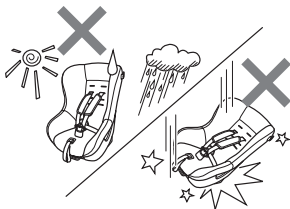
●チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料（専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。

●チャイルドシートのハーネスを刃物などの鋭利なもので傷つけないでください。傷ついているとチャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。

●チャイルドシートを車両に固定するシートベルトに、緩みやねじれのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

●取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。

⚠ 警告

こんなことにも注意して

- 事故などで車両に強い衝撃をうけた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれが強いので、再使用しないでください。

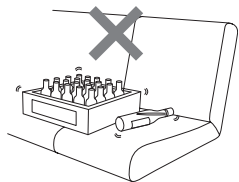
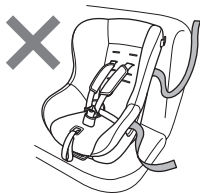
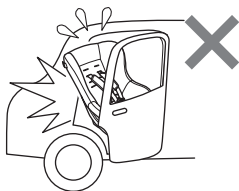
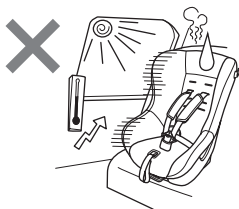
- チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュースなどをかけないでください。部品の故障原因になります。

- チャイルドシートを保管するときには、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。

⚠ 警告

こんなことにも注意して

●チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認のうえ、使用してください。

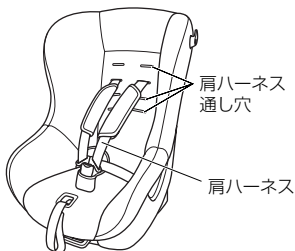
●可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（樹脂部分等）が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。

●チャイルドシートにお子さまを乗せないときでも、安全のため必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。

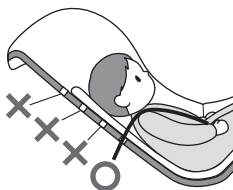
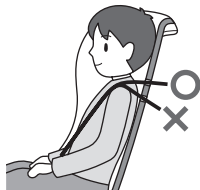
●お子さまや乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。

肩ハーネス高さの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置（18ページ）を調整する必要があります。

- 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」（37ページ）をご参照ください。

肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（19ページ）を参照し、正しい位置に調整してください。

肩ハーネス高さ

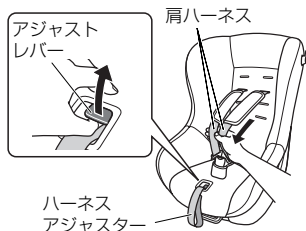
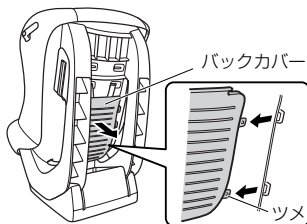
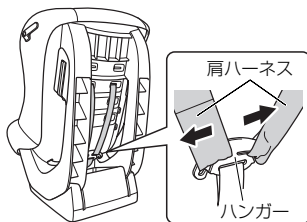
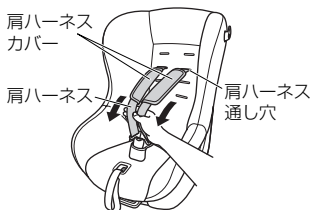
お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（19ページ）を参照し、正しい位置に調整してください。

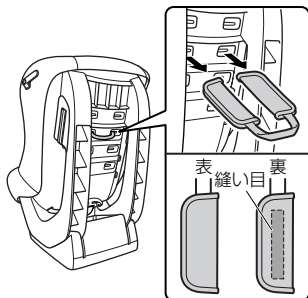
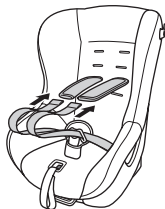
■後ろ向き（体重13kg未満）
一番下の肩ハーネス通し穴を使用してください。（目安：下から1番目のみ）

■前向き（体重9～18kg）
肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、より高い位置穴を使用してください。（目安：下から2～4番目）

⚠ 警告

●肩ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

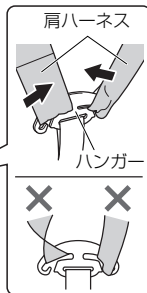
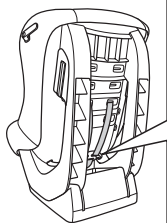
肩ハーネスの高さ調整

①アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。

- 肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスのみを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。

②チャイルドシート背面のバックカバーを取り外す。

③肩ハーネスをハンガーから外す。

④肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。

⑤肩ハーネスカバーをチャイルドシート背面から引き抜き、適切なハーネス通し穴に差し換える。

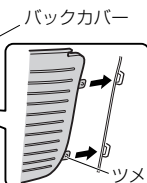
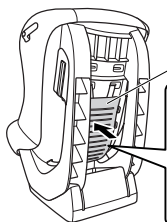
・ 肩ハーネスカバーには表裏があります。縫い目がある側を裏（お子さまの肩に当たる）側にしてください。

⑥肩ハーネスを肩ハーネスカバー、ハーネス通し穴の順に差し込む。

肩ハーネスの高さ調整

⑦肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

●肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
●肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

●直射日光が当たってハンガーが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用時には十分注意してください。

⑧バックカバーを取り付ける。

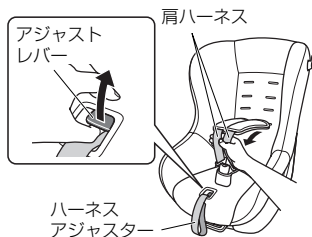
⚠ 注意

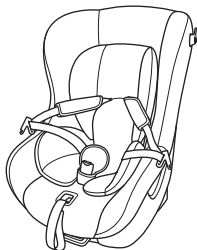
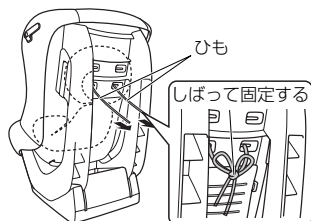
●バックカバーのツメが本体に確実に固定されていなかったり、取り付ける向きが正しくないと、事故時に十分な機能を発揮しない可能性があります。

アドバイス

・バックカバーが本体に沿って付いていることを確認してください。

インナークッション（別売）の取り付け

インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満（参考年齢6ヶ月未満）の場合にのみご使用になれます。

①アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

②バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。

③チャイルドシート座面にインナークッションを置く。

④インナークッションのひもを上から2番目の肩ハーネス通し穴に通し、背面でしばる。

〈インナークッションの取り外し〉

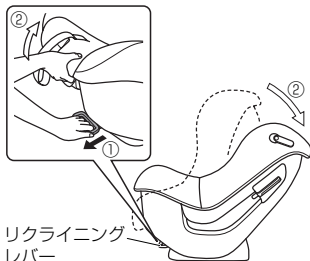
「インナークッションの取り付け」と逆の手順で取り外してください。

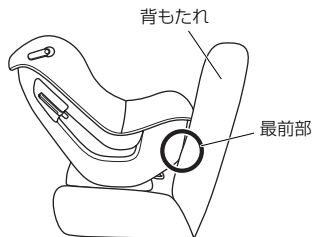
お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

①チャイルドシートの正面からリクライニングレバーを手前に引く。
②レバーを引いたまま、イス部分を倒す。
③レバーが戻り、ロックしたことを確認する。

⚠ 警告

●リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

④チャイルドシートの最前部がシートの背もたれに付くように、チャイルドシートを置く。
チャイルドシートと背もたれのすき間が少なくなるよう、お車のシートの背もたれ角度を調整する。

・長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートベルトやシートに跡がつく場合があります。チャイルドシートとシートが接する面にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

⑤シートベルトをベルト通し口に通す。

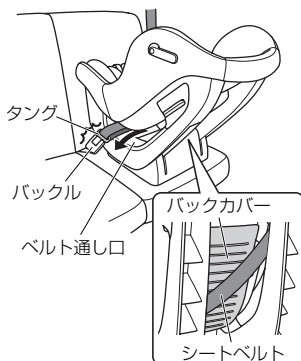
⚠ 警告

●ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

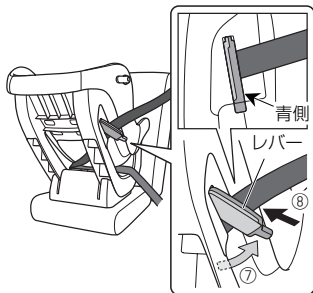
⑥反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

⚠ 警告

●バックルが確実にロックされていることを確認してください。
ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

●シートベルトを通すときは、必ずバックカバーの上を通してください。

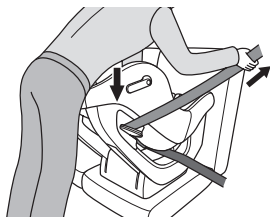
お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

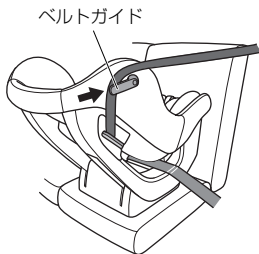
⑦ロックオフデバイスのレバーを開く。
⑧レバー青側と本体との間にシートベルトを通す。

- ロックオフデバイスはお車のバックルと反対側のみ使用します。
  両側を使用する必要はありません。

⑨チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。

- 腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。

⑩シートベルトを引っ張りながら
⑪ロックオフデバイスのレバーを閉じる。

⚠ 警告

●ロックオフデバイスのレバーが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

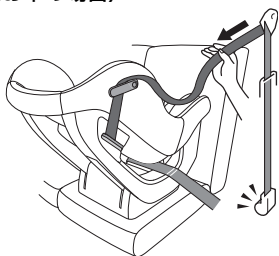
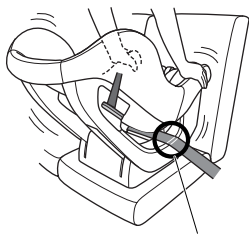
⑫ベルトガイドにシートベルトを通す。

お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

〈チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合〉

⑬シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

・ チャイルドシート固定機能の詳しい取り扱いについては、お車の取扱説明書をお読みください。

⑭取り付けチェック
チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。しっかり取り付けられていない場合は手順③からやり直す。

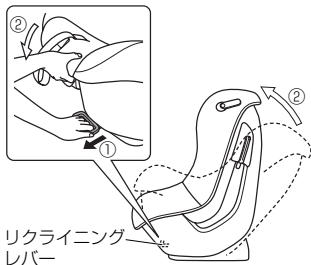
⚠ 警告

●チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは、緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

- 取り付けに関して不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。
- ご使用にあたりましては、定期的にシートベルトやロックオフデバイスレバーの緩みがないか確認し、緩みがあれば再度取り付け直してください。

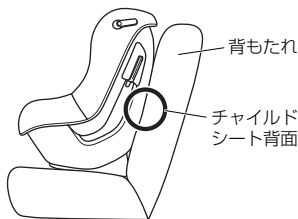
お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

①チャイルドシートの正面からリクライニングレバーを手前に引く。
②レバーを引いたまま、イス部分をおこす。
③レバーが戻り、ロックしたことを確認する。

⚠ 警告

●リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

④チャイルドシートの背面がシートの背もたれに付くように、チャイルドシートを置く。
チャイルドシートと背もたれのすき間が少なくなるよう、お車のヘッドレスト高さ、シートの背もたれ角度を調整する。

• 長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートベルトやシートに跡がつく場合があります。チャイルドシートとシートが接する面にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

⑤シートベルトをベルト通し口に通す。

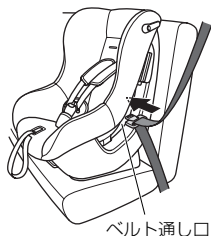
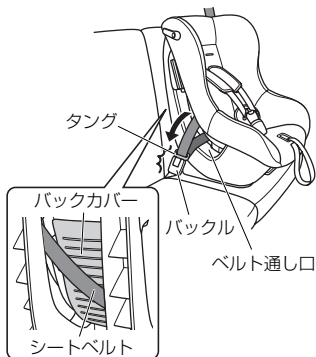
⚠ 警告

●ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⑥反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

⚠ 警告

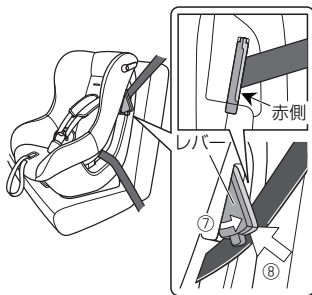
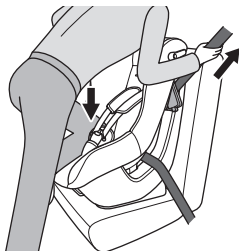
●バックルが確実にロックされていることを確認してください。
ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

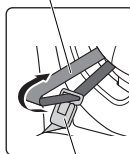
⚠ 注意

●シートベルトを通すときは、必ずバックカバーの上を通してください。

お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

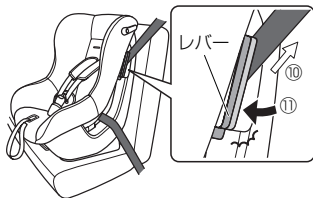
⑦ロックオフデバイスのレバーを開く。
⑧レバー赤側と本体との間にシートベルトを通す。

アドバイス

- ロックオフデバイスはお車のバックルと反対側のみ使用します。
  両側を使用する必要はありません。

⑨チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。

アドバイス

- 腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。

⑩シートベルトを引っ張りながら
⑪ロックオフデバイスのレバーを閉じる。

⚠ 警告

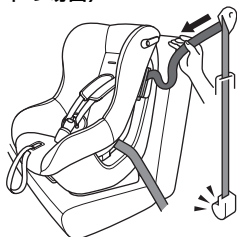
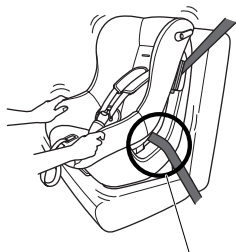
●ロックオフデバイスのレバーが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

お車への取り付け（幼児用：体重9〜18kg）

〈チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合〉

⑫シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

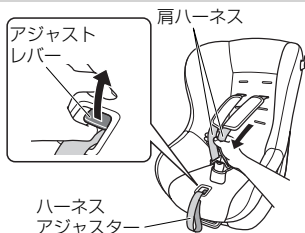
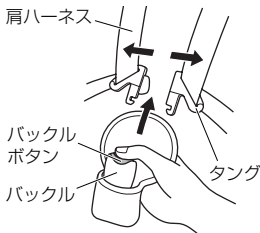
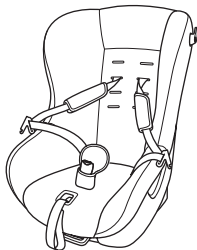
- チャイルドシート固定機能の詳しい取り扱いについては、お車の取扱説明書をお読みください。

⑬取り付けチェック
チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。しっかり取り付けられていない場合は手順③からやり直す。

⚠ **警告**

- **チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは、緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。**

- 取り付けに関して不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。
- ご使用にあたりましては、定期的にシートベルトやロックオフデバイスレバーの緩みがないか確認し、緩みがあれば再度取り付け直してください。

お子さまの座らせかた

①アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

- 肩ハーネスのみを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

②バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。

③お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。

・ タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。

⚠ 警告

●タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

⑤腰ハーネスのたるみを取る。

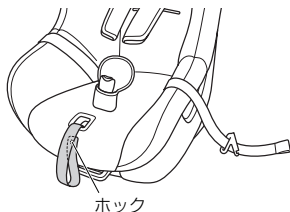
⑥ハーネスアジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

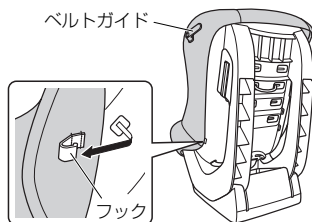
⚠ 警告

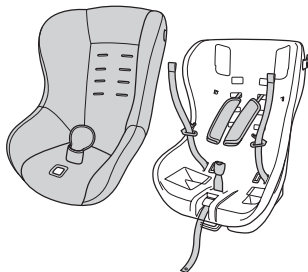
●ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

シートクッションの取り外しかた

①「肩ハーネスの高さ調整」（19ページ）の①〜④の手順で肩ハーネスを肩ハーネス通し穴から引き抜く。

②ハーネスアジャスター端末のホックを外す。

③左右のシートクッション側面のフックを外す。

④左右のベルトガイドからクッションを外す。

⑤タング、ハーネスをシートクッションから外す。

⑥シートクッションをチャイルドシートから取り外す。

シートクッションの取り付けかた

取り外しと逆の手順でシートクッションを取り付けます。

⚠ 警告

- **専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しない可能性があります。**

⚠ 注意

- **クッションがズレていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しない可能性があります。**

汚れた場合

〈シートクッション、インナークッション（別売）〉

中性洗剤を使用して、手で押し洗いをしてください。

⚠ 注意

- **洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。**

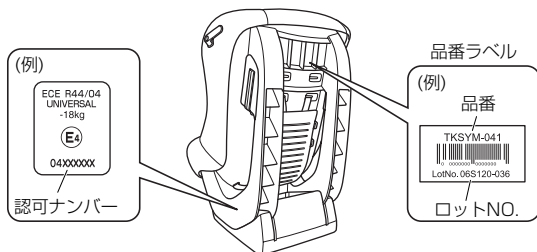
〈本体〉

柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

⚠ 注意

- **洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。**
- **水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。**

補修部品について

お買い上げの販売店またはお客様相談室（☎0120-663521）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面にあるラベルの品番を必ずお伝えください。
もし、背面ラベルがない場合には、側面にあるラベルに記載されている許可ナンバーをお伝えください。

●商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、（株）ホンダアクセス お客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル
0120- 663521（受付時間:9時～ 12 時 13 時～ 17 時／但し、土日･祝祭日･弊社指定休日は除く）

発売元 株式会社ホンダアクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止 8 丁目 18 番 4 号

08P90-E1B-0000-80